

文部科学省 大都市大震災軽減化特別プロジェクト - 3
 「巨大地震・津波による太平洋沿岸巨大連担都市圏の総合的対応シミュレーションとその活用手法の開発」
 (中核機関：京都大学防災研究所)
 研究成果発表会

【特集】東海・東南海・南海地震に対する総合的な防災のあり方 2
 - 今後 30 年を見通した総合減災戦略に盛るべきこと -

東海地震・東南海・南海地震は今世紀前半にも発生が確実視されており、もし 1707 年の宝永地震のように 3 つの地震が同時に発生すると、建物全壊が約 90 万棟、死者約 2.5 万人、経済被害は最大 81 兆円にのぼると中央防災会議は予想しています。地震発生までの残された時間の中で被害を最小限に留めるためには、総花的な対策では不十分であり、重要な課題に重点的に資源を配分する戦略的な発想が求められます。この講演会では 8 つのもっとも重要な減災課題について今後何をしていくべきかを総合的に検討します。

日時：平成 17 年 7 月 28 日（木）10:00～平成 17 年 7 月 29 日（金）16:00
 場所：大阪新阪急ホテル 2F 花の間（大阪市北区芝田 1-1-35 TEL:06-6372-5101）
<http://hotel.newhankyu.co.jp/osaka-j/welcome-j.html>

プログラム

7月28日 於：花の間

9:45	受付、開場
10:00	開会挨拶 ・河田恵昭（大大特 -3 代表者、京都大学防災研究所・教授） ・藤井 隆（文部科学省研究開発局地震・防災研究課・防災科学技術推進室長）
【研究成果発表(コア組織)】	
10:10	研究課題 1：巨大地震の強震動シミュレーションとその活用手法の開発 澤田純男（京都大学防災研究所・助教授）
10:35	研究課題 2：大規模ライフライン網の地震災害評価シミュレーション手法と耐震性向上技術の開発 井合 進（京都大学防災研究所・教授）
11:00	研究課題 3：巨大地震津波による広域被害想定と防災戦略の開発 河田恵昭（京都大学防災研究所・教授）
11:25	研究課題 4：統合地震シミュレータに基づく災害対応戦略に関する参加型意思決定方法に関する研究 岡田憲夫（京都大学防災研究所・教授）
11:50	昼食休憩
12:45	受付、開場
【特集】東海・東南海・南海地震に対する総合的な防災のあり方 2 - 今後 30 年を見通した総合減災戦略に盛るべきこと -	
13:00	基調講演「総合的な減災のための 8 つの戦略課題」 林 春男（京都大学防災研究所・教授）
13:30	減災戦略課題 1 「住宅の耐震性向上を促進するための戦略の構築」 永松伸吾（人と防災未来センター・専任研究員）
13:50	減災戦略課題 2 「巨大地震時の長周期地震動と被害 - その予測と対策 - 」 釜江克宏（京都大学原子炉実験所・教授）
14:10	減災戦略課題 3 「中山間地域や中小都市の再生を視野に入れた防災のあり方の提案」 澤田雅浩（長岡造形大学環境デザイン学科・講師）
14:30	減災戦略課題 4 「要援護者の避難対策も含めた総合的な津波避難対策の提案」 立木茂雄（同志社大学社会学部・教授）
14:50	休憩
15:10	減災戦略課題 5 「広域災害を視野に入れた連携体制の構築」 重川希志依（富士常葉大学環境防災学部・教授）
15:30	減災戦略課題 6 「効果的な危機対応を可能にする情報システムの開発」 浦川 豪（京都大学防災研究所・研究員）
15:50	減災戦略課題 7 「複数の震災が連続して発生する場合での最適な復旧・復興戦略の構築」 牧 紀男（京都大学防災研究所・助教授）

16:10	パネルディスカッション 「戦略計画を策定することによって何が変わるのか？ 長期的な視野に立った戦略計画の策定と防災事業の推進」 コーディネーター：林 春男（京都大学防災研究所・教授） パネリスト： 永松伸吾（人と防災未来センター・専任研究員） 釜江克宏（京都大学原子炉実験所・教授） 澤田雅浩（長岡造形大学環境デザイン学科・講師） 立木茂雄（同志社大学社会学部・教授） 牧 紀男（京都大学防災研究所・助教授） 浦川 豪（京都大学防災研究所・研究員） 重川希志依（富士常葉大学環境防災学部・教授）
17:30	初日終了

7月29日 於：花の間

9:00	開場
【関連する災害対応戦略研究】	
9:10	ライフラインの広域復旧戦略シミュレーターの開発 山本欣弥（攻玉社工科短期大学・教授）
9:30	防災用人的シミュレーションシステムの研究開発 久保雅義（神戸大学海事科学部・教授）
9:50	津波の影響を受ける臨海部の避難シミュレーション 片田敏孝（群馬大学工学部・助教授）
10:10	スーパー広域震災時の大都市間連携情報の高度化 越山健治（人と防災未来センター・専任研究員）
10:30	巨大地震・津波による被害シミュレーション・プラットフォームの開発 金子史夫（応用地質株式会社技術本部地震防災部・副部長）
10:50	災害対策本部要員の応急対応訓練用ゲームの制作 梶 秀樹（慶應義塾大学総合政策学部・教授）
11:10	防災担当者の能力向上を目的とした図上訓練シミュレーターの開発 坂本朗一（株式会社防災・情報研究所・主幹研究員）
11:30	巨大連担都市圏での災害対応シミュレーション・プラットフォームの開発 今井健二（西日本電信電話株式会社ソリューション営業本部・担当部長）
11:50	地域社会の防災力の向上を目指した自治体の防災プログラムの開発と普及 永松伸吾（人と防災未来センター・専任研究員）
12:10	総括：河田恵昭（大大特 -3 代表者、京都大学防災研究所・教授）
12:30	終了

7月29日 於：花の間 -Hands-on Session-

13:00 ～ 16:00	新潟県小千谷市での成功例に学ぶ - 新潟県中越地震で展開された新技術 - コーディネーター：重川希志依（富士常葉大学環境防災学部・教授） パネリスト： ・産官学の連携による新潟県小千谷市における災害対応支援の全体像 重川希志依（富士常葉大学環境防災学部・教授） ・被害認定トレーニングシステム（DATS）を用いた支援 堀江 啓（防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター・研究員） ・被災者台帳構築の試み 吉富 望（京都大学防災研究所・研究員） ・災害時の要介護者支援のあり方 田村圭子（京都大学防災研究所・COE 研究員） ・ステークホルダー参加型の復興計画策定技術 牧 紀男（京都大学防災研究所・助教授）
---------------------	--

* 発表者等変更になることがあります。

参加費：無料
 定員：当日先着順 200 名
 アブストラクト：<http://www.ddt33.dpri.kyoto-u.ac.jp/> に掲載予定
 問合せ先：京都大学防災研究所巨大災害研究センター 大大特 -3 幹事長 林 春男

TEL: 0774-38-4273 Fax: 0774-31-8294